

吉田水子企画

# めぐるいのちの コンサート

上演時間  
1時間

ダイナミックなコントラバスソロによる  
クラシックや世界の民謡の名曲、  
コントラバスとギターの弾き語りによる  
愛唱歌・歌曲・童謡

懐かしい日本の歌や隠れた名曲、  
私たちの伝えたい想いを綴った  
オリジナルソングなど、  
やさしく語りかけるトークと共に

## 「いのちと平和」

のメッセージを含めた選曲と構成で  
未来を生きる若い世代に贈る

物語のようなコンサート



2025年9月30日(火) 午後6時 開演  
(開場 午後5時半)

場所 文学と美術のライブラリー 游文舎

入場料 2000円(中学生以下・500円) (税込、全席自由) ※3歳以下無料

出演 よしだ みなこ 吉田水子 (コントラバス・歌・ほか)

かね こ しのぶ 金子忍 (ギター・歌・ほか)

衣装制作: 霜田文子 衣装協力: 柳沢美幸

## 【ご予約・お問い合わせ】

●文学と美術のライブラリー 游文舎  
新潟県柏崎市穂波町1番25号 穂波第2ビル 2F

TEL 0257-32-1238

MAIL [fumiko-neo@view.ocn.ne.jp](mailto:fumiko-neo@view.ocn.ne.jp)

ホームページ [游文舎](#)



新潟県柏崎市穂波町1番地25号 穂波第2ビル 2F Tel:0257-32-1238



# いのちを愛おしむ音楽・・・吉田水子

『めぐるいのちのコンサート』は、

『綿々と受け継がれ、めぐっていくいのちの讃歌』そして『平和の大切さ』にテーマをしぼって、私たちが次の世代に伝えたい童謡・唱歌・愛唱歌、隠れた名曲、そして、自分自身の言葉と旋律で想いを綴ったオリジナルソングを、対象年齢、季節、その時々的情勢などを踏まえて選曲・構成し、コントラバスとギターの弾き語りコントラバスのソロ演奏でお届けする手作りのコンサートです。

多くの人に愛された曲は、その時代を生きた人たちの共感を呼ぶ作者の想いや人生が込められています。

およそ百年も前に作られた童謡には、今の時代では考えられない、生活の苦しさ、家制度の不条理、医療の未発達故に子どもを亡くしてしまう悲しみの中で精一杯生きていた人たちの切なさが映し出されていますし、戦中、民衆や戦場の兵士達の心の拠り所となった曲が広まった背景には、敵も味方も共に変わらぬ人間でありながら国の思惑に翻弄された悲しい物語があります。

このような曲の背景を知ることで、その時代と作者の深い思いを感じ、今を生きることを意味を見つめ直すことにつながると思い、演奏と共に、曲解説のお話も、とても大切にしています。

音楽には、その曲（作者）の生まれた風土、民族や文化、精神性が深く染み込んでおり、音楽を通して、自他の文化を肌で感じるができます。

一方、音楽には、国や民族や宗教、価値観などの垣根を超えて、思想や理屈と関係なく、人の心と心をつなげる力があります。

また、さらに大きな視点で見ると、私たち人類は、あくまで地球に生きるひとつの生物として今このときを共に生きています。人間もいわば「地球」という大きな生命体を構成する「細胞」のようなもの。そして、私たちのいのちは、親やその親やさらに先のたくさんの先祖のいのちと結ばれつながっています。今隣にいる人も、何代も先祖を遡ると親戚かもしれません。

そう考えると、同じ人間同士が争い、土地やいのちを奪い合ったり、目先の便利さや経済のために環境を壊すことは、なんと愚かなことか。

音楽を通していのちを考えることで、自分のいのちを大切に、周りのいのちも大切に想う心を育て、いろいろな国の人たちと助け合っていく平和な未来をきつと作り出せると私たちは信じています。これからの未来が、誰もが幸せを求めて生きられる平和な世界であるように、祈りを込めて音楽を届けます。

## 公演をご覧いただいた方の感想から

- ・めぐるいのちのこさとのぜんぶがたのしかたです。こゆうおとがたいすきでした。(年長)
- ・水子さんと忍さんの柔らかい歌声と重厚なコントラバスのハーモニーが心地良かったです。自分たち人間だけではなく自然や着物の繊維に命が宿っている、とじっくり感じられる時間でした。地球上はたくさんの命が循環して成り立っているからこそ、尊いものであり、争いにより絶えさせてはならないと思います。戦争や環境破壊のない持続的な世の中になるためには、一つ一つの命を感じ取ることから始まっていくのかなと思いました。(青年)
- ・みじかな『シャボン玉』でも、ふかく考えると、こんな命に関わる曲になるかと思った。(小6女子)
- ・生きてきた中でいろんな生物の命や生について考えたことが全然なかったから、歌や詩を通して考えて改めて人間だけではなく周りの生物や環境、過去の人たちに生かされている命という重さに気付きました。いろんな人の一生を切り抜いて一生分の人生を見た気持ちになりました。世界中の人が仲良くあそびの世界が実現したら・・・とすぐ理想を叶えたいです。(青年)
- ・とても優しい歌声で心がポカポカしました。命が生まれてその命はずっとつながっていてとぎれず、自分がある。そんなことを考えさせられました。(母)
- ・6才の娘がふとこぼれるように、「あかいつ」「いのちのおんじん」「いのちはたったひとつなんだよね」とつぶやいていました。コンサート全体がひとつの物語だったなあと感じました。『さよなら、かえろう』は、「命って何だろう」「死ぬのこわい」そんな子どもたちのギモンに優しく答えてくれるようなあったかい歌で、涙がこぼれました。(母)
- ・『みんなのいのち』、感動し、涙が溢れそうになりました。普段忘れがちなこと、自分は誰からできているのか、「私」の中にはどれだけの年月をかけてつないできた命のバトンがあることを感じられました。(中3)

## 【吉田水子（よしだみなこ）】

動物（特に猫）をこよな愛するコントラバリスト。東京藝術大学・桐朋学園大学研究科卒。躍動感あふれる伸びやかな演奏で、クラシック、タンゴ、映画音楽、ジャズ、シャンソンなど数百年のレパートリーを持ち、オールジャンルで活躍する一方、“ロバの音楽座”メンバーとして子どものための舞台作品に長く関わる。2015年より吉田水子企画を主宰。自身の構成・出演による“おんがくおしばい（演者自身が演奏をしながら歌い演じる音楽劇）”が好評を得る。俳優・井上弘久氏の独演『椿の海の記』（石牟礼道子原作・全11章）の音楽を担当。2018年より1章ずつ全国で上演中。



## 【金子 忍（かねこしのぶ）】

教職の傍ら、劇団風の子付属国際児童演劇研究所に学んだ後、岡田和夫氏に歌と作曲を師事し、作曲家・舞台実演家に転身。演劇のための音楽や歌曲・合唱曲を中心に作曲し、劇団・合唱団等に楽曲提供や指導を行う一方、吉田水子企画のほぼ全作品（“おんがくおしばい”・コンサート）の作編曲を担当し、演技・演奏・歌唱・朗読で出演。特に、ホーミーにも似た倍音を多く含む癒やしの歌声と、存在感のある台詞・語りには定評がある。また、中学校演劇の講習会講師等、演劇教育にも関わる。第30回かぶらの里童謡祭作曲募集にて富岡市議会議長賞受賞。



## 【演奏曲例】

- コントラバス演奏
  - ・グリーンズリーブス変奏曲
  - ・鳥の歌（カタルニア民謡）
  - ・G線上のアリア（バッハ作曲）
  - ・間奏曲～ゴヤ風の音楽より（グラナドス作曲）
- 童謡・唱歌
  - ・シャボン玉
  - ・赤とんぼ
  - ・竹田の子守唄
  - ・青い目の人形～私の青空
  - ・赤い靴
- 平和への祈りを込めて
  - ・アメイジンググレイス
  - ・骨のうたう（詩：竹内浩三 / 曲：岡田和夫）
  - ・リリー・マルレーン
- オリジナル曲（金子忍 作曲）
  - ・まんまるたまごのうた
  - ・いのちのたからもの
  - ・さよなら、かえろう
  - ・みんなのいのち（詩：岡本敦子）
  - ・日の光（詩：金子みすゞ）
  - ・道 程（詩：高村光太郎） 他



★特定非営利活動法人 日本青少年音楽芸能協会（青音協）加盟★

# 吉田水子企画

Website



LINE公式アカウント



吉田水子と金子忍の二人が中心となって“おんがくおしばい『おじゃま猫ものがたり』”等、“いのち”をテーマにした舞台作品（音楽劇・コンサート）を制作・上演。“この世に生を受けた奇跡への感謝”と、“自分のいのちもまわりのいのちも共に大切にす心”を、作品を通して表現しつづけています。